

県内初！ 当院泌尿器科に 高出力レーザー導入

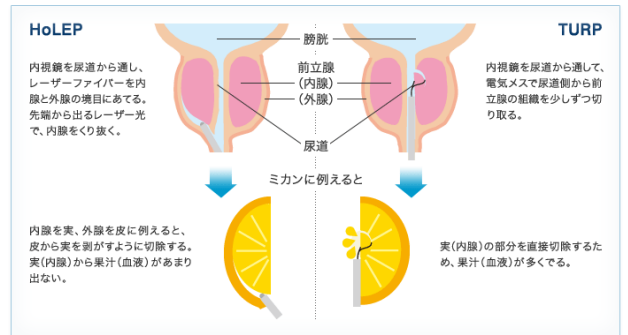


ホルミウム・ヤグレーザー装置

平成 25 年 8 月より、泌尿器科に高出力のホルミウム・ヤグレーザー装置の最新機種（バーサパルスパワースイート 100W）を導入しました。対象疾患は前立腺肥大症と尿路結石です。この高出力レーザー装置の一番の特徴は、開腹せずに前立腺肥大症の手術が行えることで、この機種の長野県での導入は初となります。現在、県内でこの手術を受けられるのは当院のみとなっております。

【前立腺肥大症の場合】

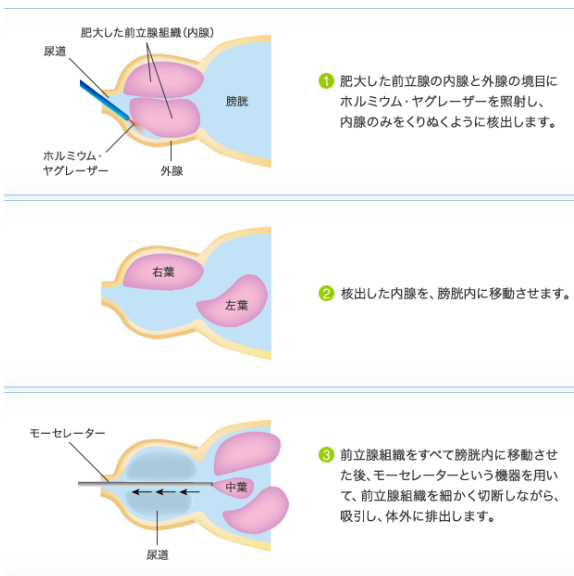
レーザーを前立腺の肥大した部分と外側（外腺）の境目に当て、肥大した部分を外腺から切り離し、一度膀胱に落とします。別の機械で膀胱内の腺腫を細かくしたのちに尿道から吸い出します。この手術の名前は **HoLEP**（ホーレップ）手術といいます。従来の経尿道的前立腺切除術（TURP）に比べて出血が少なく、術後早めに尿道の管を抜くことができます。普通の大きさの肥大症はもちろんのこと、開腹手術で行われていたような大きな肥大症にも対応できます。



従来の TURP と新しい HoLEP 手術との比較

【尿路結石の場合】

尿路結石は、結石のできた場所や大きさによって手術方法が変わりますが、多くは体外衝撃波で治療します。体外衝撃波は体に傷ができませんが、結石が1回で破碎できなかつたり、結石がレントゲンで見えないと治療ができない場合があります。



HoLEP 手術

当院では、今回のホルミウム・ヤグレーザー装置の導入により、尿道経由で尿管まで内視鏡を挿入して、結石をモニターで見ながらレーザーで破碎する経尿道手術も可能になりました。経尿道手術では、結石を見ながらレーザーで細かく割り、破碎効果を確認した上で破碎した結石を体外に取り出します。手術は麻酔下で行い 5 日程度で退院できます。

なお、膀胱に比較的近いところにある 1cm 以上の大きな尿路結石は、経尿道手術が第一選択で体外衝撃波も選択肢になりえます。当院では、結石の場所や大きさに応じて両者を使い分けていきます。

